

# 金城大学短大だより

No.44

平成20年6月15日発行

金城大学短期大学部 白山市笠間町1200番地〒924-8511 Tel.076 (276)4411

URL:<http://www.kinjo.ac.jp/>E-mail:[tandai@kinjo.ac.jp](mailto:tandai@kinjo.ac.jp)ビジネス実務学科  
幼児教育学科

新入生合宿研修



入学式を終えまだ緊張感の漂う4月4日から幼児教育学科、2週間の授業を終えようやく学園生活が見えてきた4月20日からビジネス実務学科が、国立のと青少年交流の家にて一泊の新入生合宿研修を行いました。幼児教育学科では、意欲的な修学への姿勢を喚起し、充実した学生生活の基盤作り、ビジネス実務学科では大学生としての自覚を促すとともに学生相互のネットワーク作りを支援することを目的としております。

両学科とも普段とは違う環境の中で、新しい仲間との協働作業を行い、新たな出会いを楽しみながら無事合宿研修を修了することができました。

合宿研修の成功は、2年生リーダーの活躍があげられます。両学科とも春期休暇中にリーダー研修を行い、幼児教育学科からは16名、ビジネス実務学科からは20名の学生リーダーが合宿研修を支えてくれました。

## 平成20年度 入学式

平成20年度入学式が、4月2日、白山市松任文化会館に多数の来賓と保護者をお迎えして盛大に挙行され、3学科447名の新生が入学を果たしました。

加藤晃理事長の告辞では、創立から今日までの尊い学園の歩みが紹介されました。本田昂学長は式辞において、寝る間も惜しんで献身的に医療活動に尽くした一人の日本人青年医師の言葉を引かれ、「スプーン一杯の時間とお金を他人のため地域のため社会のために費

やす心と勇気、優しさを持ち続けることを」と説いてくださいました。

それに応えるかのように、ビジネス実務学科の末元那美さんが、「思いやりの心を忘れずに努力します」と宣誓し、希望に満ちた大学生活の緒につきました。



## 平成19年度 卒業証書授与式



弥生3月16日、白山市松任文化会館で、平成19年度卒業証書授与式が挙行されました。

幼児教育学科173名、ビジネス実務学科164名、美術学科71名の計408名、そして、専攻科



福祉専攻42名、留学生別科5名、美術学科研究生16名の計63名に栄える卒業証書・学位記、修業・

修了証書が授与されました。

加藤晃理事長の告辞の後、本田昂学長は、学びを修めた卒業生諸君への賛辞と共に、友情と絆を語ったゲーテの名言を饒(はなむけ)とされました。ビジネス実務学科の金子沙央梨さんの心のこもった送辞に続き、美術学科の秦里佳さんが、師へ友へそして家族への感謝の気持ちに加え、「可能性は無限大であり、挑戦し続けたい」と述べ、参列者の胸を熱くしました。晴れの巣立ちを心から祝福する式となりました。

- 【卒業証書受領者代表】 明福昭希哉 (美術)、太田 智子 (幼教)、石橋 実佳 (ビ実)、  
 【修業証書受領者代表】 尾崎 祥子 (専攻科)、柴田 康佑 (美術研究生)、呉文隼 (留学生別科)  
 【免許状・認定証受領者代表】 東 真弓 (幼教)  
 【特別表彰・理事長賞】 柴田 有見 (美術)、久野 智子 (幼教)、高浦美沙子 (ビ実)  
 【卒業記念樹目録贈呈】 米山 優子 (ビ実)  
 【卒業制作優秀賞】 明福昭希哉、村中真理子、柴田 有見、白江 興子、丸谷 典子  
 【全国保育士養成協議会会長表彰】 吉崎 夕貴 (幼教)  
 【日本介護福祉士養成施設協会会長表彰】 洲船 真央 (専攻科)  
 【日本医療教育財団理事長表彰】 山岸 優美 (ビ実)  
 【学 科 長 表 彰】 小林沙也加、矢野真理子、御座 沙織、山本 佳子 (以上幼教)  
 源 友香、木村 芳江、二上 維妃、塩谷 香、玉田 夕貴 (以上ビ実)



学生のいきいきした表情があふれる  
**「こども未来の城」に参加**

今年も「こども未来の城」が開催され、幼児教育学科学生約100名が500組ほどの親子と二日間にわたって遊びの世界を広げることができました。

このイベントは石川県子育て支援財団が主催する催しで、金沢市広坂のいもり堀園地を会場に、たくさんの親子連れでにぎわいを見せています。

子育て支援に関係する団体や企業、保育関係の学校が一堂に会し、その中でも学生手作りの「短大部幼児教育学科」の看板が会場でも



目立っていました。

短大部のブースでは、学生が準備した、牛乳パックやストローを使っての「おばけのびっくり箱」とアンパンマンのお面作り、傘を入れるビニール袋でのロケットの制作が好評で、会場内でもお面をつけて制作したおもちゃを持った子どもがたくさん見られました。

その他にもパネルシアターや大型絵本のよみかせ、子どももいっしょに加わったアンパンマン体操を披露し、青空と芝生の下で学生もいきいきした表情で活動できました。

幼児教育学科では、今後も学外での子どもや親子で参加するイベントなどにも、積極的に取り組んで学生の活躍の場を広げていきたいと考えています。



★  
**幼児教育学科オーストラリア研修旅行  
 シドニー・ペンリス10日間の旅**

平成20年2月21日から3月1日、幼児教育学科1年生13名が参加しました。

シドニーの市内・郊外観光、自由行動とともに、今回初めて白山市の親善友好都市であるペンリス市を研修地として4日間過ごしました。

同市では大歓迎を受け、ホームステイ、保育実習、施設見学に加え、市長表敬訪問、友好交流協会パーティ、ブルーマウンテン・フェザードール動物園観光など、大変充実した滞在でした。保育実習では子ども達と言葉の壁を越え、折り紙、工作、歌などで楽しく交流し、時の経つのも忘れるほどでした。また何と言っても最

高の感動であったのはホームステイで、友好交流協会パーティでは朝倉先生が“ウォーシングマチルダ”を熱唱され、学生達も“赤とんぼ”“手遊び歌”を披露。会場は盛り上がり、ホストファミリーとは涙、涙の別れとなり、滞在が短すぎるとの声が上がるほどでした。

オーストラリアの大自然を思う存分満喫すると共に、素晴らしい異文化体験となった10日間でした。



## ビジネス実務学科 海外研修旅行

3月21日～28日の8日間ビジネス実務学科の1年生20名でアメリカ西海岸(サンフランシスコ・ロサンゼルス)へ海外研修旅行に行ってきました。霧や曇りが多いサンフランシスコですが、ガイドさんがびっくりするほどの快晴に恵まれました。ツインピークスからの外観、ゴールデンゲートもクリアでカメラの休む暇がなかったです。ホームステイ先であるサンフランシスコ郊外の町エンジェルズキャンプは、牧場や農家が大半のアメリカの古い田舎町といった感じで、馬に乗せてもらった学生もいました。ちょうどイースター

の週末だったということもあり、イースター用の卵のペインティングを経験したり、親族同士のパーティーに参加した学生もいたようです。霧で飛行機が大幅に遅れたものの、ロスに到着後は市内観光、そして最終日のディズニーランドでの自由行動も朝から閉園時間の深夜まで元気に楽しんでいました。添乗員さんのわかりやすい進行説明のおかげで特に大きな問題もなく無事に小松空港に帰国しました。



## ビジネス実務学科 ビジネスインターンシップ

ビジネス実務学科では全コースの学生を対象にインターンシップを行いました。観光系コースの学生は、夏に3週間、春に2週間、ホテル、旅館、旅行会社、観光施設などで研修を行いました。コンピューター系コースとビジネス実務コースの学生は、春休み期間中の2週間を利用し、コンピューター関係、金融関係、医療関係、総合商社などの企業で研修を行いました。特に後者の研修は希望者のみを対象に行われたため、学生一人一人が真剣にインターンシップに臨み、意義のある研修になったと思います。キャリアデザインコースの学生は、12月末から3月初めにかけ、合計10週間という長期のインターンシップを行いました。キャリアデザインコースの学生にとって、インターンシップはカリキュラムの核になる部分となっており、入学当時より担当教員と密に面談を行い、事前研修を行ってきました。インターンシップ最初の2週間

はクラス全員が百貨店での研修を行い、基本的な接客マナーを身に付けました。12月という年間で最も忙しい歳末商戦期間中の研修で、体力的にも精神的にも厳しい研修となりましたが、全員が得るものが多い研修となりました。1月からは、金融関係、医療関係、建設会社、ウエディング関係、美容関係、アパレル関係、自動車関係、食品関係、スポーツ関係、役所、製造会社、航空関係、図書館、総合商社など、様々な分野の企業で研修を行いました。学生は毎日学んだことをレポートにまとめ、企業側には学生の評価表を付けてもらいました。インターンシップ終了後、白山市内のホテルで報告会を行い、学生はそれぞれ研修の成果を発表しました。協力企業とは、企業の担当者と教員とで反省会兼懇談会を行い、今年の研修の反省と、その反省を来年の研修に繋げる話し合いが行われました。



## 卒業記念植樹シリーズ

雪に白梅。明治40年に制定されたこの金城の校章は、以来100余年、学園の発展とともに歴史を重ね、伝統を育んできました。平成17年度卒業生は、その白梅を記念植樹として選択、金城の門をくぐり鯉が泳ぐ池を過ぎた芝生の法面に、ずしりと1本残していられました。

実はそれまで大学キャンパスに白梅はなく、この金城のシンボルは校章の中だけにひっそりと咲いているというさびしい状況でした。それももう昔の話、植えられた白梅はしっかりと根を下ろし、今年も見事に開花してくれました。30年間成長を続けてきた金城短大が、この白梅のもとで原点回帰を果たし、今後さらに求心力を高め、未来へ向かって歩を進め

ていく。そんな雰囲気、ほのかな香りとともに伝わってくるようです。

花言葉は「気品」。雪をかぶっても毅然として気高く、泰然として品格を失わず、優雅に清雅に、美しく力強く咲く白梅。百花に先駆けて世の中に春を知らせる春告草（はるつげぐさ）、これが金城の花です。



金城の校章



## 金城短大行 スクールバスから シャトルバスへ

金沢市内を走ったスクールバスの利用者が減少したため、設備や人的スタッフを有効に生かすことを目的に、今年度よりJR加賀笠間駅⇄大学間をシャトルバスが運行することになりました。シャトルバスの利用者は増加傾向にあるようです。スクールバスが運行されたのは、「金城短期大学」が創立された32年前となります。思い起こせば最初のバスは、“目立つバス”派手な黄色にサイケな模様、今となれば懐かしさを覚えますが、乗っているのも気恥ずかしいくらいでした。きっと、同じ思いをもたれる卒業生も多いのではないでしょ

うか。おおよそ10年ごとに新しくなり、現在のバスは4台目となります。創立以来現在もハンドルを握っておられる小谷内さんは、「一言でいいますと時代の代わりと共に32年ということです。金沢市内の交通量、交差点の変化そして当時の積雪量の多いこと、時には朝学校へ行ったのに日中の積雪でバスが動かなくなり、徒歩で金沢まで帰るということもありました。何よりも一番思いの深いことはやはり一番先の派手な黄色のバスかね。どこに居ても、どこに走って行っても目立つ黄色のバスも、現在の金城大学の歴史を担っている様な思いも感じます」と話してくださいました。

スクールバスにありがとう！シャトルバスにこれからもよろしく！



平成20年度

# 体 育 祭

恒例の体育祭が5月16日に開催されました。例年心配される天気も今年は非常に良く、当日は五月晴れのさわやかな陽気に恵まれました。グラウンドに集まった学生を前に「健全な魂は健全な肉体に宿る」との本田学長の開会宣言で幕を開けました。



競技種目は午前のA群バレーボール、バスケットボール、ドッチボール、ポートボール、

フットサルが、午後のB群チームジャンプ、つなひき、リレーが行われました。つなひきでは教員の混成チームが優勝して大人げない面を見せるなど、短大全体が盛り上がりました。



クラスの混成チームが優勝して大人げない面を見せるなど、短大全体が盛り上がりました。

クラス別では幼教2C組が総合優勝したほか、多くの種目で幼教クラスが上位を独占し、団結力を見せました。



## 第29回金城大学短期大学部コーラス定期演奏会

# Waku Waku World

平成20年1月26日(土)に、本学恒例の金城大学短期大学部コーラス定期演奏会【Waku Waku World】が賑やかに開催されました。幼児教育学科2年生のイングリッシュソングや童謡メドレー、西南幼稚園の発表、コーラスクラブの混声合唱、操演部のミュージカルオペレッタ、FieldCatsやマーチング履修者のステージドリル、ダンス部の軽快なダンス等、充実したプログラムで、日頃の活動や授業の成果がいかんなく発揮されました。今年度は、特化音楽履修の学生と西南幼稚園児との合同発表や、フィナーレでは出演者全員による合唱もあり、例年以上の盛り上がりでした。また、会場は多くの来客で埋め尽くされ、大盛況の内に終幕となりました。



## 美術学科 第7回ファッションショー

# Kinjo Art Show Case

美術学科ファッションコースによるファッションショーが3月9日、金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにおいて開催されました。

ステージは学生バンドの演奏から始まり、ダンス部のパフォーマンス、そしてファッションコース学生6名の作品と染色コース2名の浴衣の作品の発表という流れで行われました。

モノトーンを基調としたクールな作品や、細かいフリル・レースをあしらった可愛らしい作品、純和風の浴衣などバラエティーにとんだ作品が披露されました。164名の来場者から好評を得ました。今回は初めての企画として学生バンドの演奏での幕開けとなり、いつも以上に賑やかなステージになりました。



平成19年度

# 第31回金城大学短期大学部美術学科卒業制作展 優秀作品

平成20年2月13日(水)～17日(日) 21世紀美術館

## 【優秀賞】



染色・ファッション  
白江 興子  
「a little hands」



日本画 柴田 有見  
「狂愛-臆恚-」



マンガ・キャラクター  
村中真理子 「トイジョイ」



メディア造形 丸谷 典子  
「あしあと、あしあと、あしあと」



デザイン  
明福 昭希哉  
「Associate a Man with Cherry」

## 【研究生優秀賞】



染色・ファッション  
向井 志穂  
「夜雪」



日本画  
土田 竜也  
「Gane'sa」



デザイン  
坂下 智美  
「出産」



メディア造形  
岩崎 愛「きのこ」



油 絵  
高寺由布子  
「ひだまり」



デザイン  
北口 尚美  
「前進と吸収」



マンガ・キャラクター  
酒井 麻衣  
「Greed Monsteres」



染色・ファッション  
櫻井 千嘉  
「鳳凰連理(訪問着)」

## 美術学科受賞

- 第47回現代工芸美術展 現代工芸賞  
権田 宜子 (染色・ファッションコース准教授)
- 第1回石川コンテンツマーケット 最優秀賞  
デザインコース1年生/  
大谷 友理 (H9年卒) プロデュース
- eAT'08 AWARD 動画部門 匠賞  
北出 一幸 (H9年卒)
- 石川の現代工芸展 奨励賞  
染色・ファッションコース研究生 向井 志穂
- 第28回北九州日本画公募展  
秀作賞 土田 竜也 (日本画研究生)  
入選 中田 大介、中西 己琴、  
小西 季奈、漆原 悠太、  
鈴木つかさ (日本画2年生) 他
- 第14回マスターズ大東京展 6名入選 他

## 大学案内・募集要項

<http://telemail.jp>

テレメール/資料請求受付 (24時間)

- 音声ガイダンスに従って資料番号を入力して下さい。  
IP電話 050-2015-0555  
大 阪 06-6222-0102

- 資料請求番号 160794 2日で資料が届きます。  
※お急ぎの場合は、本学へ直接ご連絡下さい。



KINJO

**編集後記** 学生食堂のメニューが増えて値段が上がった。値上げは急速な食料費高に対する苦渋の選択だろう。メニュー数と値段に因果関係はあるのだろうか。いずれにしろ、食堂は学生で賑わっている。中には、ご飯を持参し、惣菜のみ購入する学生もいる。学生の新しい選択だ。金短生のたくましさを感じる。(食道)